

主題セッション

「炎症性腸疾患 up to date 2021：病態から治療まで」

司会 佐々木 誠人（愛知医科大学消化管内科）

穂刈 量太（防衛医科大学校医学教育部医学科内科学（消化器））

近年、炎症性腸疾患の新たな治療薬が登場し、治療の選択肢が幅広がりと同時に病態による治療薬の選択が課題となった。加えて、COVID-19 リスク下での治療法といった問題が急浮上し、治療の選択はより複雑化している。本セッションでは、これらの問題点を解決すべく、基礎および臨床から広く演題を募集し活発なディスカッションを行いたい。